

授業科目(ナンバリング)	観光史 (CA117)			担当教員	大井田 かおり		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本講義では、観光そのものの歴史だけでなく、観光のとらえかたの歴史も学ぶことによって、現在観光学で盛んに議論されているトピックについて把握できるようになることがねらいである。また、観光学において必ず取り上げられるジョン・アーリの『観光のまなざし』に触れてみる。							①⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	観光の歴史および観光のとらえ方の歴史の知識を説明することができる。				・定期試験 ・課題レポート	30% 20%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	歴史についての議論ができる				・授業での発表	10%	
協働・課題解決力							
多様性理解力	現代社会が抱えている問題を分析し、自身の観光に対する意見を観光史の中で位置づけることができる。				・定期試験 ・課題レポート	20% 20%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
第7回終了の時点で、歴史項目についての課題レポートを提出する。レポートに対するフィードバックは授業で行う。レポートと試験の成績に、授業中の発言を総合的に判断し成績をつける。							
授業の概要							
最初に日本の観光史について学び、『観光のまなざし』を参考にイギリスを中心としたヨーロッパの観光史について学ぶ。担当者は国内外添乗員経験者を活かし、授業を展開する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：ジョン・アーリ、ヨナス・ラースン『観光のまなざし第3版』加太宏邦訳、法政大学出版局 参考書：その都度指示する。 指定図書：ジョン・アーリ、ヨナス・ラースン『観光のまなざし第3版』加太宏邦訳、法政大学出版局							
授業外における学修及び学生に期待すること							
初めて『観光のまなざし』を読むときは、とても難しく感じるはずですが。でもちょっと我慢してとりあえず一通り読んでみましょう。繰り返して読むと、少しずつ中身がわかってきます。必要に応じて高校の歴史や地理の教科書や地図帳を持ってきてください わからない用語があればスマホやパソコンで授業中に検索してもかまいませんが、授業と関係のないことをしている場合(LINE など)は、授業に出席していないものとします。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	ガイダンス	授業の進め方や評価について説明を行う。	観光史を学ぶ意義について考えておく。
2	日本の観光史 1	第二次世界大戦までの日本の観光の流れを学ぶ。	第二次世界大戦以前の歴史について、復習しておく。
3	日本の観光史 2	第二次世界大戦以降の日本の観光の流れを学ぶ。	第二次世界大戦から現代までの歴史について、復習しておく。
4	日本の観光史 3	ニューツーリズムからバリアフリーツーリズムを取りあげる。	バリアフリーツーリズムについて調べておく。
5	日本の観光史 4	ニューツーリズムからヘルスツーリズムを取りあげる。	ヘルスツーリズムについて調べておく。
6	観光のまなざしの前提 1	遠近法、記号論、メタファーについて	記号論やメタファーの単語の意味を調べておく。
7	観光のまなざしの前提 2	フロイトのまなざし、フーコーのまなざし、アーリのまなざし	フロイト、フーコー、ジョン・アーリについて調べておく。
8	観光のまなざし 1	観光のまなざしの発展と歴史の変遷	教科書 6 ページ 15 行目～12 ページ 5 行目までを読んでおく。
9	観光のまなざし 2	「疑似事象」か本物志向か～観光の真正性	教科書 12 ページ 14 行目～21 ページ 9 行目までを読んでおく。
10	観光のまなざし 3	近代ツーリズムの祖トーマス・クック	教科書 60 ページ 9 行目～61 ページ 10 行目までを読んでおく。
11	観光のまなざし 4	IT 技術と観光	教科書 83 ページ 13 行目～92 ページ 7 行目までを読んでおく。
12	観光のまなざし 5	交通の発達と観光のまなざしの変容	教科書 252 ページ 14 行目～254 ページ 3 行目までを読んでおく。
13	観光のまなざし 6	写真技術が変える観光のまなざし	教科書 264 ページ 12 行目～268 ページ 18 行目までを読んでおく。
14	未来の観光について	バーチャル観光と宇宙観光	未来の観光はどのように変わるかの考えをまとめておく。
15	まとめ	本講義で学んだことを総括する。定期試験の説明をする。	今までの講義を振り返っておく。
16	定期試験	筆記試験	定期試験の準備